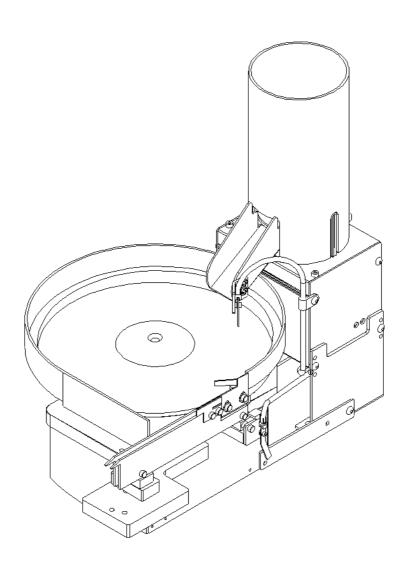
# i-Feed

パーツフィーダホッパ IF-H80

取 扱 説 明 書

第 1. 3 版



**SUS Corporation** 

# 目 次

1.	はじめ	ra
	1.1	付属品について
	1.2	安全にお使いいただくために
2.	概要	
3.	仕様	
	3. 1	仕様
	3. 2	外形図
	3. 3	各部の名称
4.	使用方	法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4-1
	4. 1	IF との連結方法
	4. 2	IF 運転検出
	4. 3	ワーク検出センサの調整
	4. 4	運転方法
	4. 5	ワークの取り出し方
5.	コント	<b>ローラ</b> ・・・・・・・・・5-1
	5. 1	各機器の説明
	5. 2	運転信号
	5. 3	排出動作
	5. 4	動作モード
	5. 5	タイマー設定
	5. 6	原点復帰
	5. 7	内部設定
	5. 8	アラーム
	5. 9	パソコンソフト
6.	-	ナンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6-1
		本体の清掃
		部品の交換方法
7.	トラブ	ルシューティング ・・・・・・・・・・・・・・・・7-1
0	但立却	<b>B</b>

# 改版履歴

版	年 月 日	内 容	変更ページ
1.0	2014/2/28	第1版 制定	-
1. 1	2014/10/29	IF との連結方法追記。	4-3
1. 2	2016/2/1	IF 運転検出センサをケーブルに変更。	4-4
1. 3	2017/8/24	取扱説明書 CD の付属を廃止。	1-1

# 1. はじめに

この度は、パーツフィーダホッパ IF-H80 をお買い上げ頂き有り難うございます。

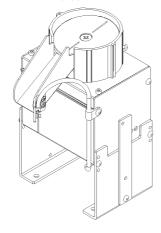
本取扱説明書は本機の取り扱い、運転方法等について詳細に説明してありますので、 よくお読みになり正しくご使用されますようお願いいたします。 また、本書を機械の近くに保存し、機械を扱う全員の方が定期的に見るようにしてください。

本取扱説明書に記載されている内容は製品改良の為、予告無しに変更することがあります。 最新の情報は、当社ホームページをご覧ください。 <a href="http://www.sus.co.jp/">http://www.sus.co.jp/</a>

## ■ ■ 1.1 付属品について ■ ■

製品がお手元に届きましたら、付属品の確認をお願いします。

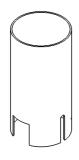
□IF-H80 本体



 $\Box$ AC  $\mathcal{T}\mathcal{S}\mathcal{T}\mathcal{S}$  (Item No. SUC-054)



□パイプ



□IF 運転検出ケーブル



## ■ ■ 1.2 安全にお使いいただくために ■ ■

安全にお使いいただくために、よくお読みになり正しくお使いください。 以下に示す内容は、お客様や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

| この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」 内容です。 | この表示は、「傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が 想定される」内容です。 | 想定される」

# ■■■■■ 警告 ■■■■■

- ●本書に記してあること以外の取り扱い・操作は原則として、「してはならない」と解釈 してください。
- ●人命に関わる装置には使用できません。
- ●作業される場合は、必ず電源を切った後に行ってください。
- ●濡れた手で電源コードを触らないでください。感電の恐れがあります。
- ●本機は不燃物に取り付けてください。火災の原因になります。
- ●各コネクタには仕様に合った電圧以外は印加しないでください。 また、極性を間違えないようにしてください。
- ●通電中や電源 OFF 後は、本機が高温になっている場合があります。触れないでください。
- ●本機の分解や改造は行わないでください。
- ●本機を廃棄する場合は、一般産業廃棄物として処理してください。

### ■■■■■ 注 意 ■■■■■

- ●本機は精密機器です。落下させたり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。
- ●コントローラはモータ駆動用に高周波のチョッピング回路を有しています。 そのため、外部にノイズを発生しており、計測器や受信機などの微弱信号を扱う機器に 影響を与える可能性があり、同一の装置で使用されるには、問題が発生する場合があります。
- ●本機には、緊急に停止させる非常停止機能はありません。
  緊急時に動作を瞬時に停止させる事が必要な場合は、電源を遮断するなどの処理を、お客様にてご用意下さい。
- ●本機は脱調した場合の位置ずれを補正する為に、定期的に原点復帰するようになっています。 原点復帰時は位置決めボルトに押し付ける方式となっておりますのでぶつかる音がしますが、 故障ではありません。

# 2. 概要

本機は、弊社パーツフィーダ i-Feed2 135、i-Feed2 200 の関連商品として開発されました。

- ■パーツフィーダへワークを自動供給する機器です。
- ■i-Feed2 135、i-Feed2 200 に簡単に取り付け・位置出しが行えるよう、 専用ブラケットを標準化しました。
- ■パーツフィーダの動作を判別するための専用ケーブルが付属し、パーツフィーダの動作、 停止を確実に判断します。
- ■ワーク有無検出はホッパ側に設置し、パーツフィーダへの面倒な取付は必要ありません。
- ■ワークストックは、透明なパイプを使用していますので、残量が一目瞭然です。
- ■ステッピングモータを使用することで、メンテナンスフリーで低価格な商品になっています。
- ■シンプルな構造となっており、定期的なメンテナンスも簡単に行えます。

# システム構成

システム構成及び、機器の名称を示します。



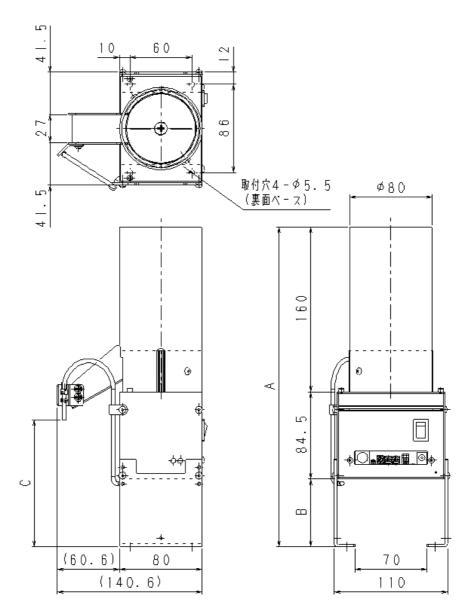
# 3. 仕様

# ■ ■ 3.1 仕様 ■ ■

項目	仕様
容量	520cc
耐荷重	2kg
ワーク容器	アクリルパイプ 外径 φ 80、t=2、L=160 (mm)
電源	DC24V 1A (AC アダプタ使用 Item No. SUC-054)
駆動源	ステッピングモータ
対応機種	i-Feed2 135, i-Feed2 200
適用ワーク	ネジ・ナット・樹脂部品等 直径φ2mm以上(M2以上)
本体重量	1. 2kg
制御部	本体に内蔵
動作モード	3 パターン ①積算モード ②センサモード ③間欠モード
外部入力	動作指令
外形寸法	幅 110mm、奥行 140.6mm、高さ 302.5mm or 310.5mm or 318.5mm
使用温度	室温 0~40℃、湿度 80RH 以下、結露なきこと
	屋内で直射日光が当たらない場所。水滴・切削油等が飛散しないこと。
使用環境	腐食性ガスが発生しない場所。粉塵が多くない場所。
	0.5G を超える衝撃や連続する振動が伝わらない場所。
	甚だしい電磁波、紫外線、放射線がないこと。
通信機能	RS232C 準拠

# ■ ■ 3.2 外形図 ■ ■

# 単体寸法図



寸法表(単位:mm)

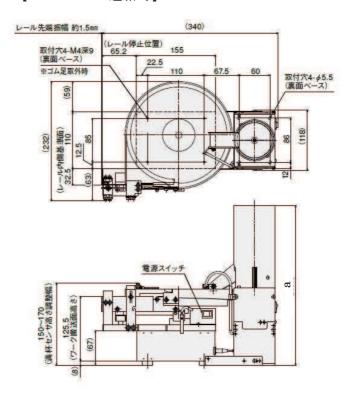
IF 機種		ワークサイズ	A	В	C (*1)
i-Feed2 135	ゴム足無し	φ8以下	302. 5	58	115
	ゴム足付き	φ8以下	310. 5	66	123
	ゴム足無し	φ10 未満	302. 5	58	115
i-Feed2		φ10以上	310. 5	66	123
200	ゴム足付き	φ10 未満	310. 5	66	123
		φ10以上	318. 5	72	131

(\*1) C 寸法は+3 mm調整が可能です。

# 【i-Feed2 135 連結時】

# レール先端振幅 約1.5mm (280) 取付六4-M4深9 (裏面ペース) ※ゴム足取付外時 (25.2 (レール停止位置) (30.5 (東面ペース) (30.5

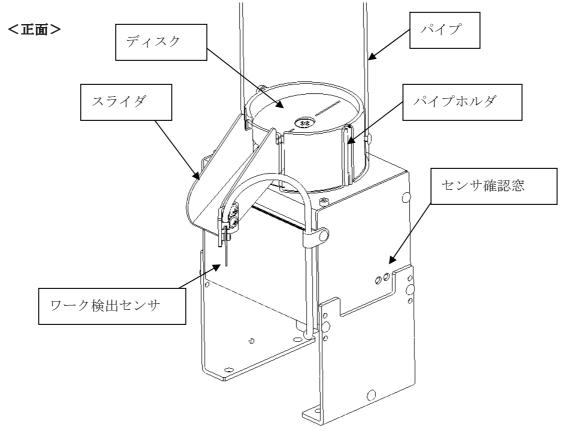
# 【i-Feed2 200 連結時】



寸法表(単位:mm)

IF	機種	ワークサイズ	a
i-Feed2	ゴム足無し	φ8以下	302.5
135	ゴム足付き	φ8以下	310.5
	ゴム足無し	φ 10 未満	302.5
i-Feed2		φ10以上	310.5
200	ゴム足付き	φ 10 未満	310.5
		φ10以上	318.5

# ■ ■ 3.3 各部名称 ■ ■



# <裏面>

